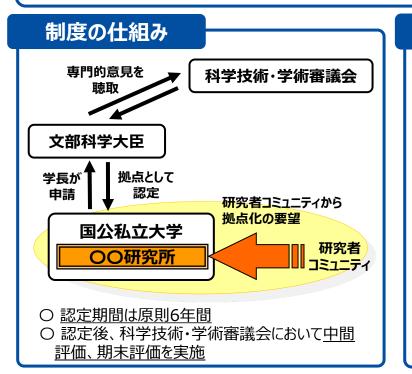
### 制度の趣旨等

- 個々の大学の枠を越えた共同利用・共同研究は、従来、国立大学の全国共同利用型の附置研究所 や研究センター、大学共同利用機関を中心に推進
- 我が国全体の学術研究の更なる発展のためには、個々の大学の研究推進とともに、国公私立を問わず 大学の研究ポテンシャルを活用して研究者が共同で研究を行う体制を整備することが重要
- このため、国公私立大学を通じたシステムとして、文部科学大臣による共同利用・共同研究拠点の認定 制度を創設(平成20年7月)



我が国の学術研究の基盤強化と新たな学術研究の展開



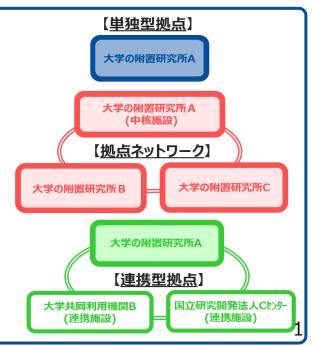
### 制度の特徴

### 3つの類型の拠点を認定

- ① 単独型拠点
- ② 拠点ネットワーク 複数拠点の研究ネットワークにより構成
- ③ 連携型拠点

大学以外の研究施設(大学共同利用機関や 国立研究開発法人の研究施設等)が「連携 施設として参画

○ 国際的な拠点を別途、「国際共同利用・共 同研究拠点 として認定 (平成30年度~)



### 共同利用・共同研究拠点及び国際共同利用・共同研究拠点一覧(令和5年4月現在)

#### 単独型(国立大学):28大学65拠点

O北海道大学

遺伝子病制御研究所 人獣共通感染症国際共同研究所

スラブ・1ーラシア研究センター 低温科学研究所

〇帯広畜産大学 原虫病研究ヤンター

#### O東北大学

加齢医学研究所 電気通信研究所 電子光理学研究センター 流体科学研究所

#### O筑波大学

計算科学研究センター つくば機能植物イノベーション研究センター 〇京都大学 ヒューマン・ハイ・パフォーマンス先端研究センター

#### O群馬大学

生体調節研究所 〇千葉大学

環境リモートセンシング、研究センター 真菌医学研究センター

#### O東京大学

空間情報科学研究センター 地震研究所 中料編篡所 素粒子物理国際研究センター 大気海洋研究所 物性研究所 O東京医科歯科大学

### 難治疾患研究所

O東京外国語大学

アジア・アフリカ言語文化研究所

#### O東京工業大学

科学技術創成研究院 フロンティア材料研究所

#### 〇一橋大学

経済研究所 O新潟大学

#### 脳研究所 O金沢大学

がん進展制御研究所 環日本海域環境研究ヤンター

#### O名古屋大学

宇宙地球環境研究所 低温プラズマ科学研究ヤンター 未来材料・システム研究所

医牛物学研究所 エネルギー理丁学研究所 基礎物理学研究所 経済研究所 人文科学研究所 牛存圏研究所 牛熊学研究がター 東南アジア地域研究研究所 複合原子力科学研究所 防災研究所 野生動物研究センター O大阪大学 社会経済研究所 接合科学研究所

蛋白質研究所 微生物病研究所 レーサー科学研究所 🛫

#### 〇鳥取大学

乾燥地研究ヤンター

#### 単独型(私立大学):16大学17拠点

#### 〇自治医科大学

先端医療技術開発センター 〇慶應義塾大学

#### パ°ネルテ、ータ設計・解析センター 〇昭和大学

発達障害医療研究所

#### 〇玉川大学

脳科学研究所

#### 〇東京農業大学

生物資源がル解析センター O東京理科大学

#### 総合研究院火災科学研究所

#### 〇法政大学

野上記念法政大学能楽研究所 **〇大阪商業大学** 

#### 〇明治大学

先端数理科学インスティテュート

### 〇早稲田大学

各務記念材料技術研究所 坪内博士記念演劇博物館

#### 〇東京工芸大学

風工学研究センター

#### 〇中部大学

中部高等学術研究所国際GIStンタ- O名古屋市立大学

#### 〇藤田医科大学

医科学研究1/29-

#### O京都芸術大学 舞台芸術研究ヤンター

〇同志社大学

#### 赤ちゃん学研究ヤンター

JGSS研究ヤンター

#### O関西大学

ソシオネットワーク戦略研究機構

#### O岡山大学

資源植物科学研究所 惑星物質研究所

#### O広島大学

放射光科学研究センター

#### O徳島大学

先端酵素学研究所

#### 〇愛媛大学

沿岸環境科学研究ヤンター 地球深部ダイナミクス研究センター 〇琉球大学 プ<sup>°</sup> ロテオサイエンスヤンター

#### 〇高知大学

海洋37国際研究所

#### 〇九州大学

応用力学研究所 牛体防御医学研究所 マス・フォア・インダ、ストリ研究所

00

#### O佐賀大学

海洋エネルギー研究所

#### O長崎大学

高度感染症研究ヤンター 熱帯医学研究所

#### 〇熊本大学

発牛医学研究所

#### 〇熊本大学·富山大学(共同設置) 先進軽金属材料国際研究機構

#### 熱帯牛物圏研究ヤンター

# B U

●:共同利用・共同研究拠点の所在地

国際共同利用:共同研究拠点

(国立大学):4大学6拠点

O東北大学

O東京大学

金属材料研究所

医科学研究所

宇宙線研究所

O京都大学

〇大阪大学

化学研究所

数理解析研究所

核物理研究センター

■:国際共同利用・共同研究拠点の所在地

#### 単独型(公立大学):8大学12拠点

#### 〇札幌医科大学

フロンティア医学研究所

#### 〇会津大学

宇宙情報科学研究ヤンター

#### O横浜市立大学

先端医科学研究から

創薬基盤科学研究所 不育症研究がター

#### 〇大阪公立大学

数学研究所 都市科学,防災研究かり-附属植物園

#### 全固体電池研究所

〇和歌山県立医科大学 みらい医療推進ヤンター

#### 〇兵庫県立大学

自然•環境科学研究所天文科学センター

#### 〇北九州市立大学

環境技術研究所先制医療工学 研究ヤンター/計測・分析ヤンター

### 国際共同利用·共同研究拠点 (私立大学):1大学1拠点

#### O立命館大学

アート・リサーチャンター

国立大学が 中核の拠点	78	65	ネットワーク	拠点
	拠点数 計	単独型	_拠点_	国際

公私立大学が 中核の拠点	拠点数 計			
		単独型	拠点 ネットワーク	国際 拠点
	30	29	0	1

#### (※)青字の1拠点は令和5年4月から認定

#### 7拠点ネットワーク :19大学27拠点、5連携施設

#### ※★印は中核施設

#### 【学際大規模情報基盤共同利用·共同研究拠点】

〇北海道大学 情報基盤ヤンター 〇東北大学 サイバ・ーサイエンスヤンター

★東京大学 情報基盤ヤンター

○東京工業大学 学術国際情報かり 〇名古屋大学 情報基盤ヤンター

○京都大学 学術情報メディアヤンター 〇大阪大学 サイハ ーメディアヤンター

〇九州大学 情報基盤研究開発ヤンター

#### 【物質・デバイス領域共同研究拠点】

〇北海道大学 電子科学研究所 〇東北大学 多元物質科学研究所

○東京工業大学 科学技術創成研究院・ 化学生命科学研究所

★大阪大学 産業科学研究所 〇九州大学 先導物質化学研究所

#### 【生体医歯工学共同研究拠点】

★東京医科歯科大学 牛体材料丁学研究所 〇東京工業大学 科学技術創成研究院。

> 未来産業技術研究所 電子工学研究所

〇静岡大学 ナノデバイス研究所 〇広島大学

#### 【放射線災害·医科学研究拠点】

原爆放射線医科学研究所 ★広島大学 〇長崎大学 原爆後障害医療研究所

○福島県立医科大学ふくしま国際医療科学ヤンター

#### 【放射能環境動態・影響評価ネットワーク共同研究拠点】

〇弘前大学 被ばく医療総合研究所

環境放射能研究所 〇福島大学 放射線・アイリトープ・地球システム研究センター

★筑波大学 <連携施設>

〇日本原子力研究開発機構 福島研究開発部門 福島研究開発拠点 廃炉環境国際共同研究センター

〇国立環境研究所 福島地域協働研究拠点

〇環境科学技術研究所

#### 【触媒科学計測共同研究拠点】

触媒科学研究所 ★北海道大学 人工光合成研究ヤンター

〇大阪公立大学 <連携施設>

〇産業技術総合研究所触媒化学融合研究tンタ-

#### 【糖鎖生命科学連携ネットワーク型拠点】

★名古屋大学·岐阜大学(共同設置) 糖鎖生命コア研究所

糖鎖牛命システム融合研究所 ○創価大学 <連携施設>

〇自然科学研究機構生命創成探究tンタ-

### 国立大学における共同利用・共同研究拠点及び国際共同利用・共同研究拠点の 中間評価・令和7年度からの新規認定に係るスケジュール(予定)

### 〇 令和5年9~11月

・「中間評価要項」及び「新規認定要項」に係る作業部会での審議

### O 令和5年12月8日(金)

- ・「中間評価要項」及び「新規認定要項」の通知・申請受付開始
- •新規認定に係る事前相談期間開始

### 〇 令和6年2月22日(木)

- •中間評価及び新規認定の申請

  が切
- ・新規認定に係る事前相談期間終了

### 〇 令和6年3~6月頃

・作業部会等における審議(書面審査、ヒアリング等)

### 〇 令和6年6~7月頃

•中間評価結果 (案) 及び新規認定候補の決定 (大学へ通知)

### 〇 令和6年9月頃

・中間評価結果の通知及び新規認定結果の文部科学大臣通知

※公私立大学における共同利用・共同研究拠点についても同様のスケジュールでの新規認定を実施

### 国立大学における共同利用・共同研究拠点及び国際共同利用・共同研究拠点の 第4期中間評価及び令和7年度からの新規認定に係る主なポイント

※ 共同利用・共同研究拠点を「共共拠点」、国際共同利用・共同研究拠点を「国際拠点」とする

## 新規認定の公募

- **共共拠点と国際拠点**について**新規認定の公募を初めて同時実施**。 (調書等も共通化) (国際拠点の公募は平成30年度の制度創設時以降2回目。従前は国際拠点単独での公募。)
- 公募の同時実施に伴い、以下の申請が可能。
  - ① 共共拠点の認定を有しない研究施設が、共共拠点の新規認定を申請
  - ② 共共拠点の認定を有しない研究施設が、共共拠点・国際拠点の新規認定を申請
    - ※ 共共拠点の認定水準を満たすものの、**国際拠点の認定水準には合致しない**と専門的見地において判断された場合は、共共拠点の認定候補として決定
  - ③ 共共拠点が、国際拠点の新規認定を申請
    - ※ 今回の中間評価結果も踏まえつつ、国際拠点の新規認定審査を行う

# 審査

- **国際拠点の評価・新規認定を各専門委員会において実施**。 (従前、国際拠点の評価・新規認定は、専門委員会の親部会である作業部会で実施。)
- 第3者から評価意見を頂戴する専門家の選出においては、新たに次世代を担う世代の研究者 の推薦を求めるなど、多様な意見を聴取できるよう配慮。

### 国立大学における共同利用・共同研究拠点及び国際共同利用・共同研究拠点の 第4期中間評価及び令和7年度からの新規認定に係る主なポイント

# 調書等

- <u>《国際性の観点》の記載項目の明確化</u> 共共拠点と国際拠点の新規認定を段階的に審査することから**国際拠点の記載項目を明確化**。
- 全体計画の概要 共共拠点としての目指すべき姿を含め、今後の中長期的な将来ビジョンについても記入。特に、 今は十分に実施できていない今後の取組を中心に記載する場合には、その取組について中長期 的な将来ビジョン内での位置づけを明確化し、実現可能性について根拠を示すよう記載。
- プレゼンテーション用動画 (ヒアリング審査時から活用 → 書面審査時から活用) プレゼンテーション動画は、書面審査の前に提出とすることで、書面審査時に調書等を補完する 形で審査に活用。審査上の主な使用目的は以下のとおり。

中間評価:拠点の全体像や、現在の活動等の理解

、新規認定:**拠点の全体像**や、拠点活動を今後行う上で**中長期的な将来ビジョン**の理解。

- ※ **共共拠点が国際拠点の新規認定を申請**する場合には、上記趣旨を踏まえ、中間評価用の動画と国際拠点用の**両方の動画を作成**すること。
- ※ 共共拠点の認定を有しない研究施設が共共拠点・国際拠点の新規認定を申請する場合には、共共拠点 と国際拠点、両方の申請内容を含むひとつの動画を作成すること。